

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2018年4月8日
<p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、日比麻音子 澤田紗季(HBC 記者、旧優生保護法の取材を担当) 巡田忠彦(記者、松本市立旭町中学校桐分校を取材)</p>		
<p>検証テーマ：陸自の「水陸機動団」発足、日報問題、北朝鮮の外交、トランプ政権の環境規制</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県 3 人殺害 ・42 歳息子を檻の中に監禁 ・カモメの頭に矢、容疑者宅から矢のようなもの押収 ・陸自の「水陸機動団」発足 ・日報問題 ・北朝鮮が「石油獲得外交」 ・戦艦大和の戦没者追悼式 ・中国人権派弁護士の妻が夫の拘束に抗議 ・トランプ政権、輸入車にのみ環境規制の強化の検討を指示 ・約 50 年前、順天堂医院で赤ちゃん取り違えの可能性 ・西部邁さん自殺幫助 ・「個人情報」を拡散する」と現金要求した男性を逮捕 ・【特集】旧優生保護法と障害者への不妊手術 ・【特集】塙の中の中学校、松本市立旭町中学校桐分校 ・スポーツ報道 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸自の「水陸機動団」発足：結論→特に問題なし 離島奪回を主な任務とする陸上自衛隊の新しい部隊、水陸機動団の発足式典が長崎県佐世保市で行われたこと、式典では一連のイラク日報問題への対応のため出席を取りやめた小野寺防衛大臣が訓示を寄せこの問題に言及しましたことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 60 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。 ・日報問題：結論→他の放送日との総合的判断が必要 立憲民主党の枝野代表が自衛隊のイラクでの日報が隠蔽されていた問題で、防衛省自衛隊を作り直さなければならぬぐらいの深刻な問題だと述べたことが報じられるとともに、「防衛省自衛隊のところで勝手に間違っただけの判断をしていたとは常識では考えられないわけですが、もし本当だとしたら防衛省自衛隊を作り直さなきゃならぬぐらいの深刻な問題です。」という枝野代表のコメントが取り上げられた。このトピックについて当てられた時間は 63 秒だった。日報や自衛隊を巡るあり方について他の政党のからのコメントがあったかどうかは不明だった。尺も短かったことから、今回の報道のみでの判断は難しく、他の放送日との比較が必要であると考えられる。 		

・北朝鮮の外交：結論→特に問題なし

今年1月から国連の制裁により各国からの石油精製品の輸出が90%近く削減され北朝鮮は深刻な石油不足に陥っていると見られること、北朝鮮のリヨンホ外相は6日に石油採掘・精製の豊富な経験を持つ産油国アゼルバイジャンを訪れメメディアロフ外相と会談したこと、5日にはリヨンホ外相は産油国ベネズエラやインドネシアの代表団とも会談していたことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は56秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・トランプ政権の環境規制：結論→特に問題なし

アメリカのウォール・ストリート・ジャーナルはトランプ政権がアメリカ国内での自動車生産を促進するため輸入車のみを対象に厳しい環境規制の導入を検討していると報じたとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は50秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・日報問題

今回は日報問題について立憲民主党の枝野代表のコメントが取り上げられるという形だった。この問題については他の放送日での扱われ方にも注視したい。

また、自衛隊のイラクでの活動は小泉政権で決定されたことであり、イラクでの日報が自民党内での政権交代や民主党への政権交代、そして自民党への政権交代を経て今になって発見されたというのは、政権党にかかわらず防衛省・自衛隊が持ち続けていた体質の話になってくるのだから、この問題で現政権や現職の防衛大臣のみの責任を問うというのは、筋違いであるように思える。